

歴史文化 地域の魅力、後世に

【栃木】岩舟町小野寺地区の歴史や文化財について遊びながら学んでもらおうと、小野寺北地域協議体のメンバー7人でつくる「ふるさと小野寺かるた部会」はこのほど、地元住民ら100人以上と協力してオリジナルの「ふるさと小野寺かるた」を300部作製した。同会代表の永島正夫さん(77)は「地元住民が丸となって作り上げた。かるたを通じて小野寺の魅力を後世にも伝えていきたい」と話している。(佐々木優衣)

小野寺北地域協議体
栃木



A

作製

かるたは岩舟町にゆかりのある平安時代の僧、慈覚大師円仁や、時宗の開祖一遍上人を描いた絵巻物「一遍聖絵(国宝)」に登場する「小野寺の雨」、最澄が国家安穩のために建てた宝塔がある大慈寺など、地元ゆかりのある人物や文化財、歴史、自然が描かれた計92枚。読み札には解説文も入っている。

これまで地域の歴史や文化財について子ども向けに説明する紙媒体の資料がほとんどなかったことから、同会が3年ほど前から作り始めた。読み

完成した「ふるさと小野寺かるた」を手にする永島さん(前列中央)

文案・デザイン 地元住民ら協力

札は自治会や小野寺小に回覧板で文案を募集し、287件の応募があった中から同会が選定した。絵札は地元の学童クラブや絵手紙クラブなどに依頼し、6〜97歳まで延べ100人以上がデザインに協力した。

完成品の一部は地元の学童クラブや小中学校、図書館などに寄贈した。イベントや野外で使えるA3サイズも作った。永島さんは「住民同士の顔の見える関係づくりにつながればうれしい。今後はかるたを使った交流事業や史跡を巡るイベントを企画したい」と意気込んでいる。

8日午前10時から、学校法人栃木シティ学園の体育館で「小野寺かるた」を使った、かるた大会を開催する。町社会福祉協議会岩舟支所0282・555・2438。

小学校中・高学年向け
年組

設問

【1】紙面の見出し「A」にはどんな言葉が入るでしょうか。記事を読んで7文字のひらがなを入れてみましょう。

【2】作製者の永島さんたちが、かるたを作り始めたのはなぜですか？その理由を記事から探してみましょう。

【3】かるた作りにチャレンジしてみよう！皆さんが住んでいる地域や栃木県の魅力、特徴が伝わるような「読み札」を作ってみましょう。

※他にもいろいろな魅力を伝える読み札を作ってみましょう。例：学校や学級、家族、習い事など

例

おきな道路にかこまれて
お店も人もいっぱい
泉が丘

お

おきな道路にかこまれて

